

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

5

2025 MAY

第264号

学校長からのメッセージ

この春、本校、そして全国6つの連携校の生徒を合わせると、270名が入学しました。

YMCAは今から180年前、イギリスでジョージ・ウィリアムズとその仲間が「生活改善」と「人格向上」を願い、“祈りの会”として始めました。その活動は世界120の国と地域へ広がり、今や6500万人が活動しています。みなさんは、その世界に連なる「YMCAファミリー」の一員であり、このことが今後きっと、みなさんの誇りとなっていくことでしょう。

YMCAは、時代に先駆けて社会に必要な取り組みを形にしてきました。たとえば「コンサイス英和辞典」や「温水プール」は日本で初めてYMCAが導入したものです。バスケットボールやバレーボールはアメリカのYMCAが発祥です。雪の季節や狭い場所でも若者が身体を動かせるようにと考案されたもので、当初バスケットのゴールは桃の収穫籠だったそうです。こうした背景には、いつも青少年の健やかな成長を願う思いがありました。23年前、本校はそんなYMCAの精神と実績、ネットワークを礎に、生徒一人ひとりが安心して、学び、成長を支える場となることを願って設立されました。

私は学生時代、YMCAのキャンプリーダーとして海洋キャンプ場で活動しました。そこでの活動は、それまでに経験したことがないほど楽しく充実した日々でした。やがて子を持つ親となり、地域の子ども会に参加したとき、「これは本当に子どものための活動になっているのだろうか？」と疑問をもち、新しい活動に変えていきました。この時、そのような発想と推進力が自分にあることに驚き、それが学生時代にYMCAで育てられたものだと感じました。

生徒の皆さんはこれからの高校生活の中で、内面にさまざまな変化が訪れます。それは目に見えないかもしれませんが、でも本校ではみなさんが生涯、心も身体も社会的にも幸せに生きる力、自分で考え、自分で一歩を踏み出す力を身につけていけるカリキュラムになっているのです。

さあ、新しい学期です。一緒に始めましょう。

(校長 鍛冶田千文)

みんなのものが一つとなるように（ヨハネによる福音書 17章21節）





今月の聖句

「あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、いちばん上になりたい者は、すべての人の僕（しもべ）になりなさい。」

（マルコによる福音書 10 章 43～44 節）

人は世の中を見ていて、不思議だなと思うことがあります。みんなそれぞれ違う性格を持ち、違う環境に生き、違う考えを持ち、違う価値観を抱いているのに、なぜかみんなが同じ方向を向いているように思われることがあります。どんな人間に、どんな大人になっていきたいですか？と問われたら、偉くない人よりも偉い人に、弱い人よりも強い人に、立場の低い人よりも高い人になりたいと、みんな思っているように感じます。それはきっと、他の人よりも高いところに立ちたいと思っているからではないでしょうか。

でも、神様の価値観は全く違います。その人がどんな立場であろうと、どんな経歴であろうと、すべての命は同じだけ尊いのです。人間社会の価値観も大事です。でも、それだけではなく、神様の価値観で一人一人の命を見つめてみることも、すごく大切なことです。誰かを上や下に見るのではなく、自分自身のことも誰かと比べて上とか下とか考えるのではなく、みんなが同じだけ尊い命であるという視点を、忘れずにいてほしいと思います。

（福島義也牧師 日本基督教団河内長野みぎわ教会）

